

## 2003年に北海道で発生した森林昆虫

うへだあきら おごきけんいち ほら ひでほ いしはまのりお  
 上田明良<sup>1)</sup>・尾崎研一<sup>1)</sup>・原 秀穂<sup>2)</sup>・石濱宣夫<sup>2)</sup>  
 (2004.11.19 受理)

### はじめに

北海道内における2003年の森林昆虫の発生状況を取りまとめたので報告する(表-1, 2)。本報告の情報は、北海道水産林務部森林整備課が収集したデータ、森林総合研究所北海道支所、北海道立林業試験場と東京大学北海道演習林が行なった調査による。森林総合研究所森林病虫獣害データベース(ホームページアドレス:<http://150.26.105.86/index.htm>, ユーザー名: AllUser, パスワード: alluser)については、残念ながら2003年に北海道から寄せられた情報はなかった。このデータベースはどなたでも閲覧可能であるが、ウェブ上での情報入力には予め個別のユーザー名とパスワードの取得が必要なので、事前に当該都道府県の森林・林業試験研究機関の保護担当者に連絡されたい。また、従来の専用ハガキでの情報提供も随時受け付けている。ハガキをお持ちでな

いは、森林総合研究所および都道府県の森林・林業試験研究機関の保護担当者または(財)林業科学技術振興所に連絡をいただきたい。読者からのなるべく多くの情報提供を切望している。本報告に先立ち、発生情報をお寄せ頂いた関係各位にお礼申し上げる。

### 2003年の発生の特徴

カラマツの食葉性昆虫では、カラマツツツミノガとカラマツイトヒキハマキが、2002年より継続して発生した。カラマツツツミノガの被害は、札幌市と恵庭市のもので、2002年とほぼ同じ地域でみられた。被害面積は、2002年の2,750haから激減して12haとなった。カラマツイトヒキハマキの被害は、旭川市と上川郡美瑛町・上富良野町を中心とした広範囲で発生し、3,730haに達した。本種は2001年に道東の標茶町と美幌町で発生(1,900ha)したが、2002年には道東での発生は終息し、かわりに深川市で発生(0.2ha)がみられ、2003年はこれを含む地域で発生した。本種による被害は、道内では1958年に初めて確認され(一色・六浦, 1961, 田村・原, 1987)、近年は大規模な発生を頻りに繰り返している(図-1)。食害によりカラマツが直接枯死した例は知られていないが、カラマツヤツバキクイムシによる二次被害に注意が必要であろう。2002年に発生した3種のハバチ(カラマツハラアカハバチ, ニホンカラマツヒラタハバチ, カラマツヒラタハバチ)の被害発生報告はなかった。カラマツ食葉性昆虫の総発生面積は3,740haに達し、2002年の5,000haと大差はなかったが、2001年の23,000haと比べると比較的小さかった(尾崎・原, 2004, 上田

表-1 2003年所管別オオアブラムシ類発生状況

所管	トドマツオオアブラムシ		エゾマツオオアブラムシ	
	被害区域面積(ha)	防除面積(ha)	被害区域面積(ha)	防除面積(ha)
国有林	0.00	0.00	35.16	15.39
道有林	0.00	0.00	0.00	0.00
民有林	31.10	27.54	9.74	4.47
合計	31.10	27.54	44.90	19.86

表-2 2003年に発生した森林昆虫(オオアブラムシ類は除く)

昆虫名	加害樹種	発生地(市町村)	発生区域面積(ha)	備考
カラマツツツミノガ	カラマツ	恵庭市	0.80	
	カラマツ	札幌市	11.60	
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	沼田町	10.00	
	カラマツ他	深川市	83.64	
	カラマツ	旭川市	1,600.20	
	カラマツ	美瑛町	595.00	
	カラマツ	上富良野町	800.00	
	カラマツ	中富良野町	400.00	
	カラマツ・グイマツ F1	士別市	151.04	
カラマツヤツバキクイムシ	カラマツ	風連町	87.68	
	カラマツ	美深町	0.56	
モミコスジオビハマキ	カラマツ	新得町	0.40	
	トドマツ	風連町	3,223.20	
シナノキハムグリハバチ	シナノキ・オオバボダイジュ	富良野市		東大演習林全域
	シナノキ	南富良野町	11.64	
ドクガ	カシワ	石狩市	3.13	
	カシワ	厚田村	6.46	
マイマイガ	グイマツ	蘭越町	6.74	

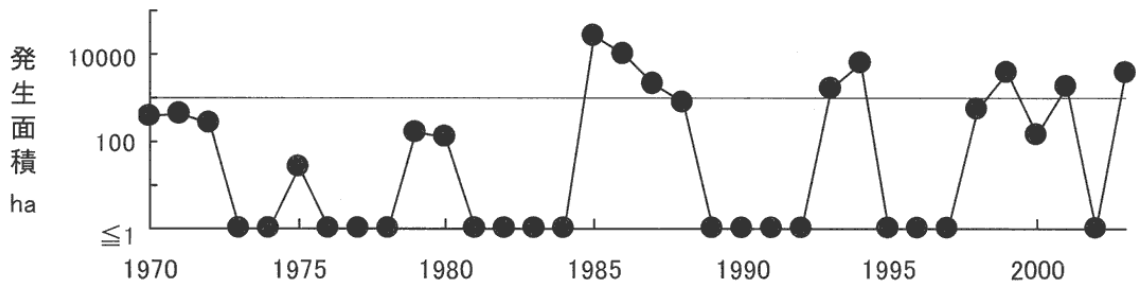


図-1 カラマツイトヒキハマキの道内での発生面積の推移

ら, 2004)。

2002年に網走地方で大発生したカラマツヤツバキクイムシによる被害はほぼ終息した。しかし、新たに中川郡美深町と上川郡新得町で小規模な発生がみられた。網走地方で被害が終息した原因の一つとして、被害木の伐採と林外搬出、またやむを得ず被害木を山土場に置く場合には、薬剤散布を実施し繁殖源を除去するという徹底した防除対策がとられたことがあげられる。2002年10月の台風21号によりカラマツを中心に大規模な風倒被害が発生した十勝中部では、カラマツヤツバキクイムシによる生立木被害が危惧されていたが、被害は認められなかった(上記の新得町の被害は風倒被害とは関係ないとのことである)。しかし、筆者らは多くの風倒被害林分で、本種の風倒木への穿入を観察していることから、2004年以後に生立木被害が生じる可能性がある。

カラマツ以外では、上川郡風連町のトドマツ人工林で発生したモミコスジオビハマキ(写真-1)による被害が顕著であった。本種幼虫は黄色から黄緑色で、背中に小さな黒点があり(頭とそのすぐ後ろは黒い)、春にトドマツの新芽を糸で綴って食べる。このほか、2003年はシナノキハムグリハバチ(写真-2)の3年周期の発生年にあたり、富良野市とその周辺の広い地域でシナノキ



写真-1 モミコスジオビハマキの幼虫

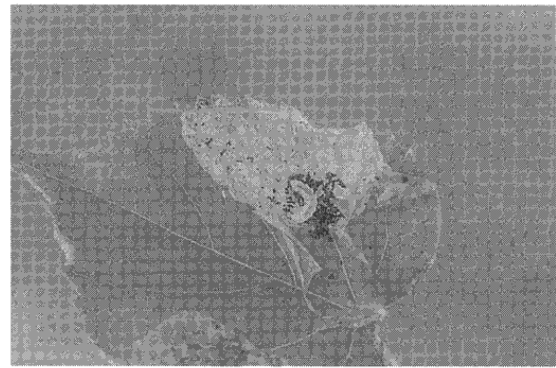


写真-2 シナノキハムグリハバチの幼虫と被害葉(東京大学北海道演習林・井口和信氏撮影)

とオオバボダイジュが春先に被害を受けた。ほとんどの木は7月に入ると新たな葉を展開し、被害が回復した。しかし、この地域では1988年から3年周期の発生が6回くり返されているため、蓄積した被害による枯死木がわずかながらみられるようになってきている。また、ドクガ(別名ナミドクガ)が石狩市とその隣の厚田村のカシワ林で発生した。本種の幼虫は黒色で、オレンジ色の目立つ斑紋がある。幼虫・成虫がもつ毒針毛にふれるとかゆみを伴う皮膚炎をおこすので注意されたい。2002年に天塩郡と苫前郡の天然林において大発生したマイマイガの被害は終息し、磯谷郡蘭越町のグイマツで小規模な被害が出るに止まった。

- 1) 森林総合研究所北海道支所
- 2) 北海道立林業試験場

引用文献

一色周知・六浦晃(1961) 針葉樹を加害する小蛾類, 47p. +20pl. 日本林業技術協会, 東京.  
 尾崎研一・原秀穂(2004) 2001年に北海道で発生した森林害虫. 北方林業, 56: 34-36.  
 田村修一・原秀穂(1987) カラマツイトヒキハマキの生活史. 北方林業, 39: 169-173.  
 上田明良・尾崎研一・原秀穂・石濱宣夫(2004) 2002年に北海道で発生した森林害虫. 北方林業, 56: 85-86.